

## 第2回委員会での主要意見と対応



## 1. 第2回委員会での主要意見

## 【物流・産業】

## 茨城港全体

要請①：企業誘致のための産業用地の確保

要請②：人手不足対策に向け、AIターミナルの取組の推進

要請③：貨物輸送効率化に向けた高機能化の推進

要請④：労働者の多様化に向けた取組の推進

要請⑤：物流効率化に向け、茨城港の実情に応じたソフト面の展開

## 日立港区

要請①：産業用地の確保、埠頭用地の拡張、岸壁の整備などの港勢拡大

要請②：航路の維持・確保・拡充

## 常陸那珂港区

要請①：貨物船とクルーズ船の入港調整

要請②：コンテナターミナルの優位性の維持

要請③：企業誘致のための産業用地の確保

## 大洗港区

要請①：貨物輸送効率化に向けた高機能化の推進

## 【環境・エネルギー】

## 茨城港全体

要請①：次世代エネルギーの貯蔵・供給施設整備

要請②：LNGバンカリングやメタネーションの導入検討

要請③：スペースの有効活用

要請④：陸電供給設備のクルーズ船等への活用

要請⑤：合成燃料等の導入検討

要請⑥：脱炭素化に資する新たな取組に対する港湾での展開

要請⑦：カーボンニュートラルに向けての様々な技術の導入

## 1. 第2回委員会での主要意見

## 【人流・賑わい】

## 茨城港全体

要請①：クルーズ船受入環境の充実

要請②：クルーズ船旅客に対する環境整備の強化

要請③：選ばれる港になるための情報収集強化

要請④：県全体、隣接県及び茨城空港との連携

要請⑤：将来的な観光振興の目標の設定

要請⑥：クルーズ船寄港地としてのブランド化、戦略の明確化

## 大洗港区

要請①：広大な砂浜の活用

## 【安全・安心】

## 茨城港全体

要請①：計画的な維持管理

要請②：自然災害等へ対応した港整備

要請③：様々な人々に対応した施設整備

要請④：作業船等も考慮に入れた検討

## 日立港区

要請①：計画的な維持管理

要請②：うねりへの対策

## 常陸那珂港区

要請①：計画的な維持管理

## 大洗港区

要請①：多様な船舶の入出港に対応した航行安全対策の強化

## 2. 第2回委員会での主要意見と対応方針

## 【物流・産業】

	主要意見	対応方針	資料3
茨城港全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 企業誘致のための産業用地の確保について検討を進めて頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○港の発展に向けた用地確保に向けた取組を図っていく。</li> <li>【取組②】新たな施設整備促進及び産業用地の確保</li> </ul>	p62～ p64
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 物流産業の取組の裏には人手不足対策というテーマが隠れていると思われる。AIターミナル等の取組を少し強調して書いても良いのではないか。</li> <li>▶ ユーザーや港湾労働者にとって“使いやすい港湾”が労働者不足の改善につながってくるだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茨城港の現状及び目標を踏まえ、段階的に取り組みを図っていく。</li> <li>【取組③】モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化</li> <li>【取組⑤】ヒトを支援するA Iターミナルの形成</li> </ul>	P65 P67
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 全自動陸上輸送やダブル連結トラック輸送等を道路機能に付加するなど、高規格化ではなく、高機能化を目指すという文言にしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貨物輸送効率化に向けて、今後取組状況等の把握に努めながら研究を進めていく。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 人口減少が進む中、港湾施設も多様化が必須だと思うので、A I等の導入を強調すべきだと思う。また、労働者の多様化(女性、外国籍、障がい者等)に対応した取組が必要であると考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茨城港の現状及び目標を踏まえ、段階的に取り組みを図っていく。</li> <li>【取組⑤】ヒトを支援するA Iターミナルの形成</li> <li>○労働者の多様化に向けては、引き続き取組を推進する。</li> </ul>	P67
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ヒトを支援するAIターミナルの形成やサイバーポートについて、茨城港の実情に応じて、ソフト面も含め展開していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茨城港の現状及び目標を踏まえ、段階的に取り組みを図っていく。</li> <li>【取組④】情報通信技術を活用した港湾のスマート化</li> <li>【取組⑤】ヒトを支援するA Iターミナルの形成</li> </ul>	P66 P67

## 2. 第2回委員会での主要意見と対応方針

## 【物流・産業】

	主要意見	対応方針	資料3
日立港区	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 後背地が不足しているため、利用者が使いやすいような用地等への対応をお願いしたい。</li> <li>▶ 日立港区は地形の制約から用地拡張が厳しいのは承知しているが、産業用地の確保や新たな埠頭用地の拡張、岸壁の整備など港勢拡大をお願いしたい。</li> <li>▶ メルセデスベンツや日産の完成自動車の他、バラ貨物等様々な貨物を取り扱っている。これらの役割を担いながら、航路の維持・確保・拡充に向けた取組を更に伸ばしていくことが重要である。</li> </ul>	<p>○港の発展に向けた用地確保に向けた取組を図っていく。</p> <p>【取組②】新たな施設整備促進及び産業用地の確保</p>	p62
常陸那珂港区	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 常陸那珂港区中央ふ頭の貨物量が増えていくと同時に、クルーズ船寄港数の更なる増加が期待できるなか、船舶の入港調整等が課題となる</li> </ul>	○安全・安心な港づくりに向け、関係機関等と連携の強化を図っていく。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 常陸那珂港区のコンテナターミナルの優位性は、コンテナヤードによる待機時間の短さである。今後、貨物が増加していく中でこの優位性がなくならないよう運営していただきたい。</li> </ul>	<p>○茨城港の現状及び目標を踏まえ、段階的に取り組みを図っていく。</p> <p>【取組④】情報通信技術を活用した港湾のスマート化</p> <p>【取組⑤】ヒトを支援するAIターミナルの形成</p>	p66 p67
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 常陸那珂港区は背後のアクセス性に優れるほか、背後の工業団地の拡張も推進されている。更なる港湾利用を促進するため、港湾を利用する企業の新規立地を受け止める産業用地の確保に取り組んでいくことが大切である。</li> <li>▶ 産業用地の確保を進めていただきたい。</li> </ul>	<p>○港の発展に向けた用地確保に向けた取組を図っていく。</p> <p>【取組②】新たな施設整備促進及び産業用地の確保</p>	p63
大洗港区	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大洗港区をさらに活性化させる場合、物理的に限られたエリアであることを踏まえ、安全・安心な港、事故がない港ということを確立しなければならない。そこで、ICT化や人手不足に対応した形でのハイテク化を進める必要がある。</li> </ul>	<p>○港湾荷役の効率化に向けた取組を推進する。</p> <p>【取組③】モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化</p>	p65

## 2. 第2回委員会での主要意見と対応方針

## 【環境・エネルギー】

	主要意見	対応方針	資料3
茨城港全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代エネルギー貯蔵・供給施設整備について検討を進めて頂きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設の活用を含め、今後の次世代エネルギーの必要供給量を踏まえ、供給拠点の形成を図っていく。</li> <li>【取組①】次世代エネルギーの供給（輸送・貯蔵等）拠点整備の検討</li> </ul>	p70
	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素に資するよう、L N Gバンカリングやメタネーションの導入などを推進していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾脱炭素化に向け、取組を推進していく。</li> <li>【取組②】物流・人流ターミナル、港湾地域に立地する企業活動の脱炭素化</li> <li>【取組④】港湾脱炭素化促進事業の推進</li> <li>【取組⑤】港湾の脱炭素化に関する将来構想</li> </ul>	p71 p73 P74
	<ul style="list-style-type: none"> <li>空スペース等において太陽光発電に活用する等、様々な可能性を念頭に置いてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「茨城港港湾脱炭素化推進計画」及び各種研究開発の動向等を踏まえ、取組を図っていく。</li> <li>【取組⑤】港湾の脱炭素化に関する将来構想</li> </ul>	p74
	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンニュートラルに向けた陸電供給設備をクルーズ船等への活用も考える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾脱炭素化に向け、取組を推進していく。</li> <li>【取組②】物流・人流ターミナル、港湾地域に立地する企業活動の脱炭素化</li> <li>【取組④】港湾脱炭素化促進事業の推進</li> <li>【取組⑤】港湾の脱炭素化に関する将来構想</li> </ul>	p71 p73 P74

## 2. 第2回委員会での主要意見と対応方針

## 【環境・エネルギー】

	主要意見	対応方針	資料3
茨城港全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ クリーンなエネルギーについて、合成燃料(e-fuel)は、水素やアンモニア等の次世代燃料と異なり、従来の機関がそのまま使えるメリットがある。導入に費用が掛かるかもしれないが、日本のエンジン技術を継承していくために合成燃料(e-fuel等)の導入も検討していただきたい。</li> <li>▶ 原子力科学研究所では、2035年の供用を目標に劣化ウランを用いた新たな蓄電池の開発を進めている。このような脱炭素化に資する新たな取組を港湾で展開することで港湾のアピールになり得るのではないか。</li> </ul>	<p>○「茨城港港湾脱炭素化推進計画」及び各種研究開発の動向等を踏まえ、取組を図っていく。</p> <p>【取組⑤】港湾の脱炭素化に関する将来構想</p>	p74
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 茨城港港湾脱炭素化促進事業のロードマップでは、管理棟等・照明設備の再エネ電力化について2050年までかかるように見受けられるが、ぜひ早急な対応を期待したい。</li> </ul>	<p>○ロードマップにあるように、2025年度よりできるところから進めていきたい。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 港湾のカーボンニュートラル対策で様々な技術を導入していくことも非常に重要である。</li> <li>▶ カーボンニュートラルに向けて導入する技術への投資が、今後の取組戦略のポイントである。</li> </ul>	<p>○「茨城港港湾脱炭素化推進計画」及び各種研究開発の動向等を踏まえ、取組を図っていく。</p> <p>【取組⑤】港湾の脱炭素化に関する将来構想</p>	p74



## 2. 第2回委員会での主要意見と対応方針

## 【人流・賑わい】

	主要意見	対応方針	資料 3
茨城港全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城港全体として、ハードとソフトの両面からクルーズ船受入環境の充実を図ることが重要である。</li> <li>クルーズ船の寄港は増加傾向にあり、クルーズ船寄港の際に発生する貨物船との利用調整が改善されるよう、茨城港全体として、ハード・ソフト両面からクルーズ船の受入環境の充実を図ってほしい。</li> <li>将来的なクルーズ船の大型化を見込むと、対応できる岸壁が必要となる。既存施設のメンテナンスと新しい機能の導入の2つのプロセスについての確立が必要である。</li> </ul>	<p>○クルーズ船誘致に向け、ハード・ソフト両面からクルーズ船の受入環境の充実を図る。 【取組①】クルーズ船の受入環境整備</p>	p75～ p76
	<ul style="list-style-type: none"> <li>クルーズ客の上陸時の手続時間短縮に向け、デジタルイゼーションのソフト的な対策を重点的にやっていく必要がある。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界におけるクルーズ需要が想像以上に伸びていく中で、茨城港長期構想がこの需要の後追いにならないよう、選ばれる港としてクルーズ需要に関する情報収集等に力を入れて港湾整備を進める必要がある。</li> <li>長期構想なので、アフターコロナ後の対応ではなく、将来的にどういった観光需要、賑わいにつなげていくのかを書き込んでほしい。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城港のクルーズ船寄港地としてのブランド化、戦略を明確化する必要がある。</li> </ul>	<p>○背後観光施設等との連携による取組を推進する。 【取組②】背後観光スポットとの連携によるクルーズ船誘致の推進</p>	p77
	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾だけでなく観光や地域交通等も含めた、県全体や隣県等との連携が必要である。</li> <li>茨城空港（小美玉市）との連携についても検討する必要がある。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>クルーズ船の利用者にとって港湾地区が通過点とならないよう、港湾地区の環境整備に力を入れる必要がある。</li> <li>整備にあたっては、景観や漁場の問題等を視野に入れて検討を進めていきたい。</li> </ul>	<p>○みなとの賑わい創出に向けた取組を推進する。 【取組③】みなとを中心とした交流拠点の創出</p>	p78～ p80

## 2. 第2回委員会での主要意見と対応方針

## 【人流・賑わい】

	主要意見	対応方針	資料3
大洗港区	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 広大な砂浜の活用について、国、県、町が三位一体となって進めていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みなとの賑わい創出に向けた取組を推進する。 【取組③】みなとを中心とした交流拠点の創出</li> </ul>	p80
	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 大洗港区のクルーズ客が港湾周辺にとどまらないのは、交通の便が不便なことも一因と思われるので、改善をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クルーズ客等の利便性向上に向けた取組を推進する。</li> </ul>	

### 【安全・安心】

	主要意見	対応方針	資料3
茨城港全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 計画的な維持管理、老朽化・災害・うねり等への対策、維持管理に有効な施設整備について検討を進めて頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的な維持管理を推進する。 【取組①】戦略的なインフラマネジメントの推進</li> </ul>	p81
	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 港湾整備にあたっては、気候変動や大型化する台風等への対応が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○港の安全・安心に向けた施設整備を推進する。 【取組②】気候変動等を考慮した臨海部の強化 【取組③】長周期波及びうねり対策の推進</li> </ul>	p82 p83
	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大洗町のユニバーサルビーチや車いすでも登れる避難タワー等、様々な人々に対応した施設整備を行う観点重要であり、他港区でもこのような観点を取り入れる必要がある。</li> <li>➢ 港の発展には道路整備は不可欠である。道路整備の必要性として、人流・賑わいと防災をセットで考えたかどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模災害（津波）等に対応した施設整備を今後も推進していく。</li> <li>○頂いた意見をもとに、港湾整備、港湾運営等において参考とさせて頂き、港湾利用者及び港湾労働者にとって、より良い港づくりを推進していく。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ゾーニングを検討する際に、タグボートや作業船等の係留も考慮に入れた検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存施設を活用し、タグボートや作業船等の適正な収容を図っていく。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 港湾の発展に伴い増加する船舶について、航行安全対策を十分に検討いただくとともに海保としても協力していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係部局等と連携し、港の安全に努めていく。</li> </ul>	

## 2. 第2回委員会での主要意見と対応方針

## 【安全・安心】

	主要意見	対応方針	資料3
日立港区	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ LNG船等の大型船入港へのうねり対策、航路の維持浚渫等が課題だと感じており、重点的に検討を進めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的な維持管理を推進する。</li> <li>【取組①】戦略的なインフラマネジメントの推進</li> <li>○港の安全・安心に向けた施設整備を推進する。</li> <li>【取組③】長周期波及びうねり対策の推進</li> </ul>	<p>p81</p> <p>P83</p>
常陸那珂港区	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 荷役機械を含めた施設の老朽化対策をしっかり行っていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的な維持管理を推進する。</li> <li>【取組①】戦略的なインフラマネジメントの推進</li> </ul>	p81
大洗港区	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大洗港区は、漁船、フェリー、クルーズ船、レジャー船が輻輳しているため、船の出入り整理等、航行安全対策に配慮して進めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係部局等と連携し、港の安全性向上に努めていく。</li> </ul>	